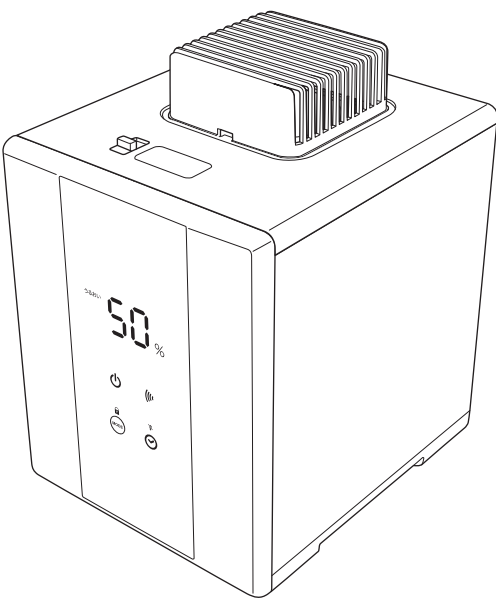


お手入れカンタン湿度センサー付スチーム式加湿器 型名：KSB-501

取扱説明書・保証書



このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

も く じ	
安全上のご注意	P. 1～2
各部の名称とはたらき	P. 3～4
使用前の準備	P. 5～6
正しい使いかた	P. 7～9
お手入れと保存	P. 10～12
修理・サービスを依頼する前に	P. 13
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙

仕 様

電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	500W
加湿方式	スチーム式（加熱式）
加湿性能	1時間あたり 《強》：約500ml、《中》：約300ml、《弱》：約200ml
連続加湿時間	約4.8時間 （《強》運転時）
水タンク容量	約2.4L
安全機能	転倒オフスイッチ（内蔵タイプ）/ 温度ヒューズ
電源コード長さ	約1.5m （マグネットタイプ）
外形寸法	約 幅21.0×奥行き27.5×高さ30.5cm
質 量	約3.6kg （本体のみ、電源コード含まず）
付 属 品	取扱説明書・保証書×1、電源コード×1（マグネットプラグ付）、吹出口ガード×1

● 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
● この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

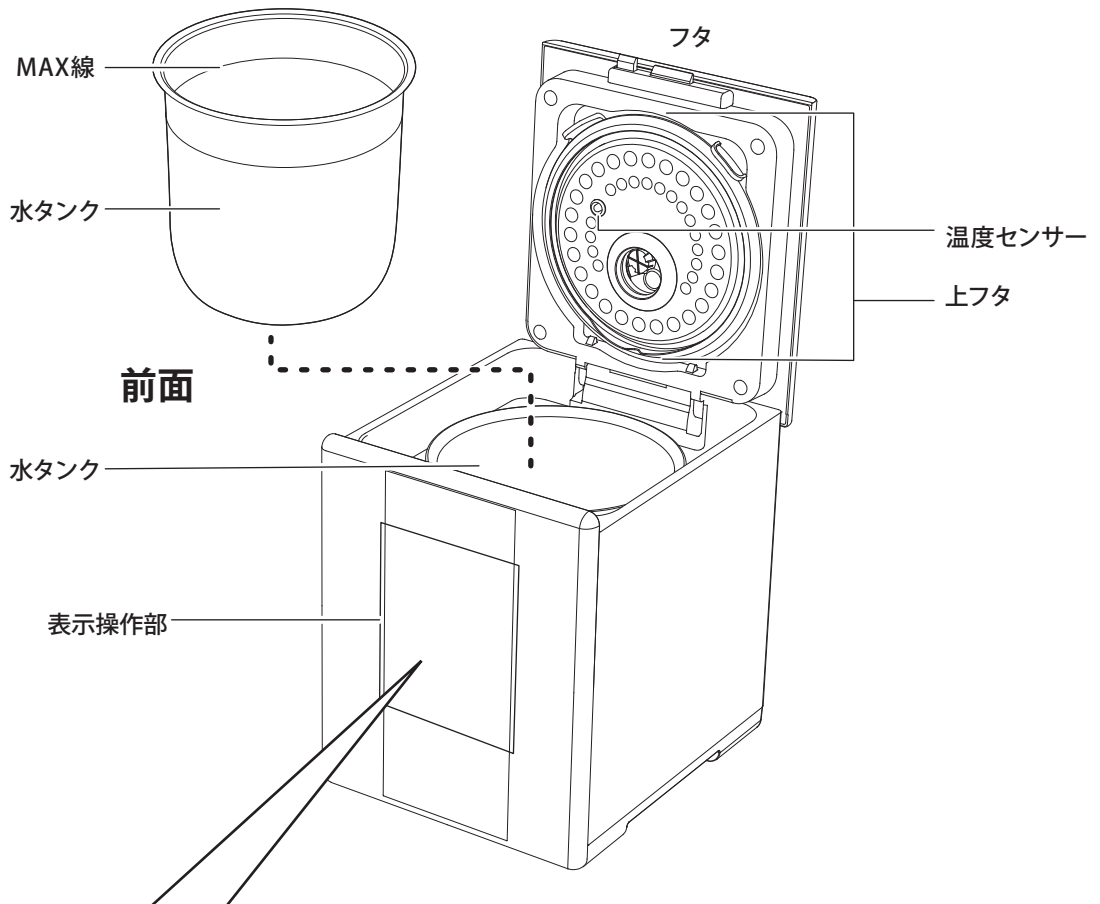
警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 指示	定格15A以上の壁コンセントを単独で使う。 他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火することがあります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		電源ケーブルのマグネットプラグに磁石が内蔵されているので、扱いには十分注意する。 磁気に弱いもの(磁気カードなど)の近くに置いたりしないでください。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。自分で意思表示ができない人、自分で操作できない人は、使用しない・使用させない。 けが・やけど・感電の原因になります。		使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 火災・故障の原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になります。
	マグネットプラグに金属片などを付着させない。 感電・ショート・火災の原因になります。		分解しない。また、修理技術者以外の人には修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店にご相談ください。
	雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。 感電の原因になります。		ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
 使用禁止	MAX線を超えて水を入れない。 水がふきこぼれ、やけどの原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
	スプレー缶など本体の近くに置かない 爆発や火災の原因になります。		
 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。		
 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。		

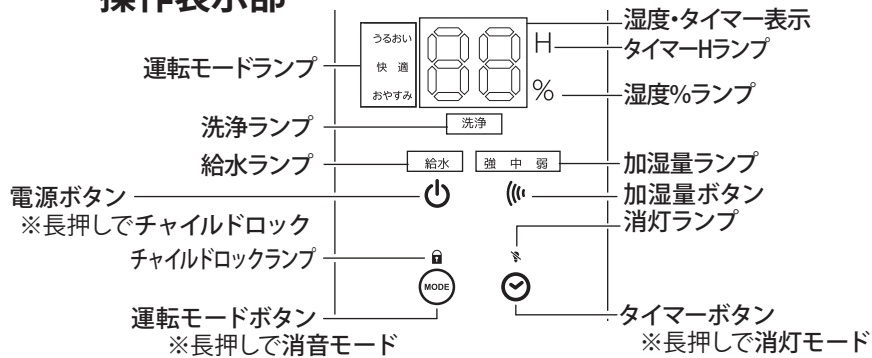
注意

 禁止	湿度の高いところ(85%以上)では使用しない。 室内を濡らしたり、故障の原因になります。	 禁止	本製品の近くに携帯電話やパソコンなどを置かない。 加湿器の運転中は、加湿器周囲の湿度が高くなりますので、湿気に弱い携帯電話やパソコンなどの電子機器などは加湿器の近くに置かないでください。
	蒸気が直接、家具・壁・カーテン・天井などにあたるところで使用しない。 家具・壁に染みがついたり、変形の原因になります。本体を壁、家具、カーテン、寝具などから50cm以上離してご使用ください。		本体を傾けない。 水タンクに水を入れたまま本体を傾けると、水がこぼれる原因になります。
	犬やネコなどのペットのためには使用しない。 ペットが本体や電源コードなどを傷め、火災の原因になります。	 指示	電源プラグをコンセントから抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になります。
	傾いた場所や棚などの高い場所、不安定な場所、お部屋の中でも人が通る場所には置かない。 転倒すると、本体の破損・やけど・けがの原因になります。		本製品を使用しないときは、水を捨てる。 使用しない水をそのままにしておくと、カビや雑菌が繁殖し異臭の原因になります。 使用しないときは、水タンクの水を捨ててください。
	蒸気吹出口をふさがない。 やけど・変形・故障の原因になります。		水タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替える。本体内部は常に清潔を保つよう定期的にお手入れする。 お手入れせずにお使いになると、汚れや水アカにより、カビや雑菌が繁殖し、異臭の原因になります。まれに体質によっては、過敏に反応し健康を害することがあります。この場合は、医師に相談してください。
	水道水以外は使用しない。 一般的に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいからです。ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水を使用すると、カビや雑菌が繁殖しやすくなったり、水アカが多くなったりして、異臭の原因になります。		凍結に注意する。 凍結のおそれがあるときは、本体の水を捨てる。
	水(水道水)以外、水タンクに入れない。 ・アロマオイルなど芳香剤を水タンクへ絶対に入れない。 本体の破損・故障の原因になります。 ・次亜塩素酸水、次亜塩素酸ナトリウムは絶対に入れない。 本体の破損・故障の原因になります。人体に害を及ぼすことがあります。		本製品はテレビ、ラジオなどから2m以上はなして設置する。 雑音の原因になります。
	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。		
	水タンクには水を入れたまま温度変化の大きい場所に放置しない。 水タンク内の水の熱膨張によって、水漏れ・故障の原因になります。		

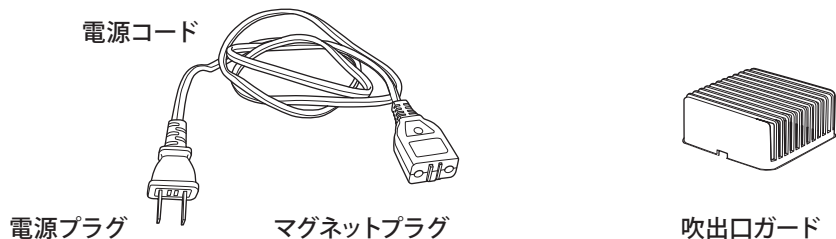
各部の名称とはたらき



操作表示部



付属品

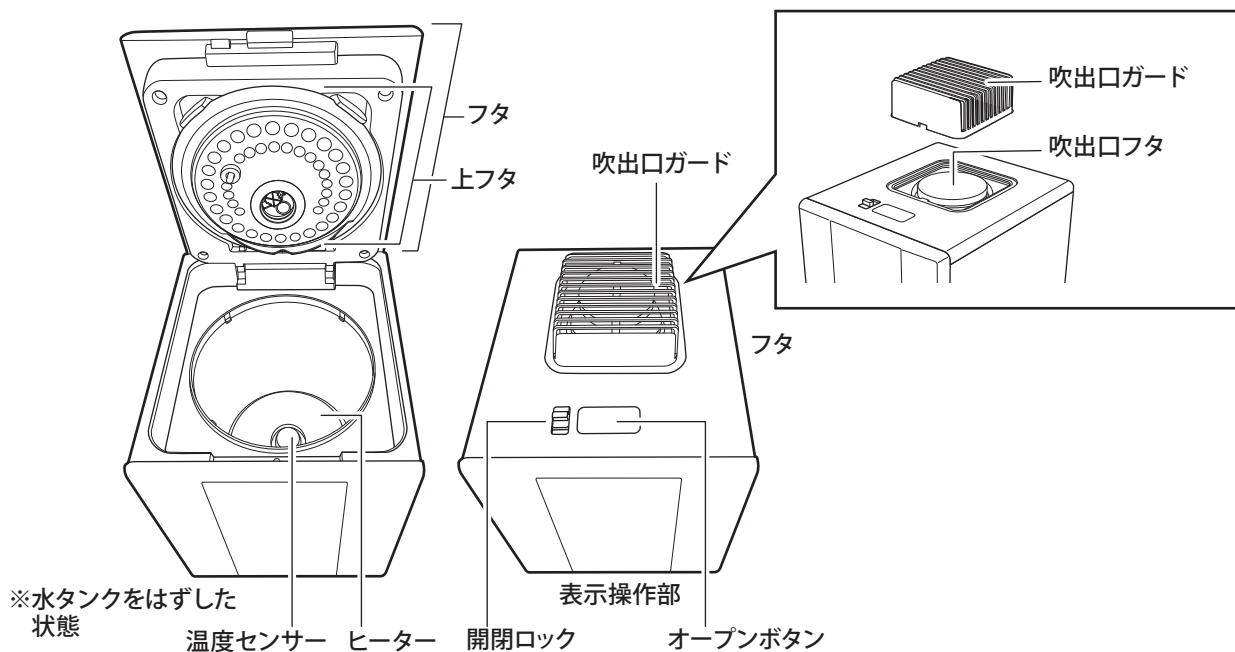




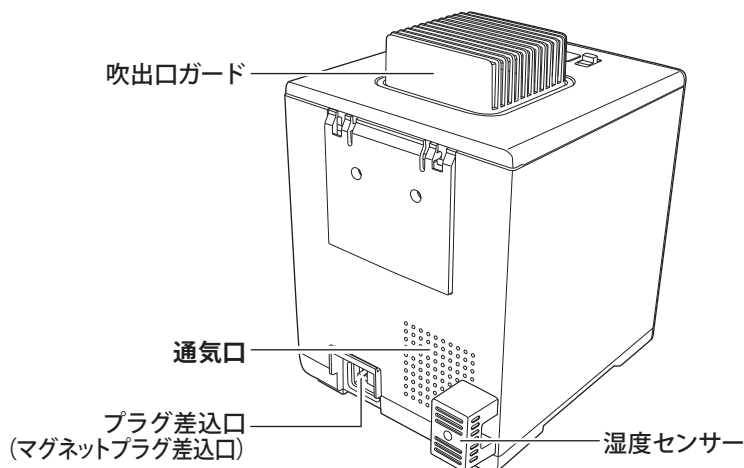
注意

- ・ 給水、排水するときや掃除をするときは本体内部や各種ボタンに水が入らないようにする。
故障の原因になります。
- ・ アロマオイルなど芳香剤を水タンクへ絶対入れない。
本体の破損・故障の原因になります。
- ・ 本体の水を捨てるときは、水タンクを取り出して捨てる。
水タンクが十分冷えてから水を捨ててください。

本体内部



背面



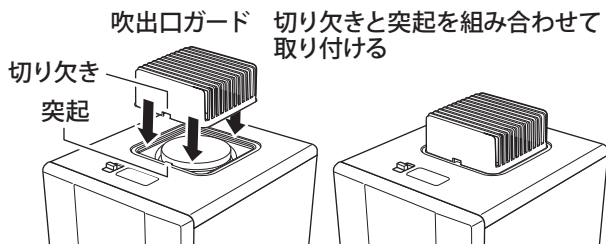
使用前の準備

初めて使用するときの準備

付属の「吹出口ガード」を取り付けてください。

1. 付属の「吹出口ガード」を本体のフタに取り付ける

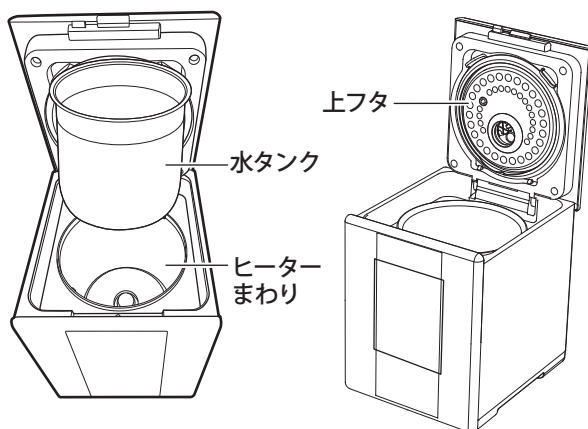
本体フタ側の取り付け部分の前面側に突起があり、吹出口ガードには切り欠きがあるので、それを組み合わせるように取り付けてください。



通常使用するときの準備

1. 本体を水平で熱に強い場所に設置する

2. フタの開閉ロックを解除してオープンボタンを押してフタを開き、水タンクを取り出し、ヒーターまわりに異物がないことを確認する



3. 水タンク周りにも異物が付いていないか確認し、本体に取り付ける

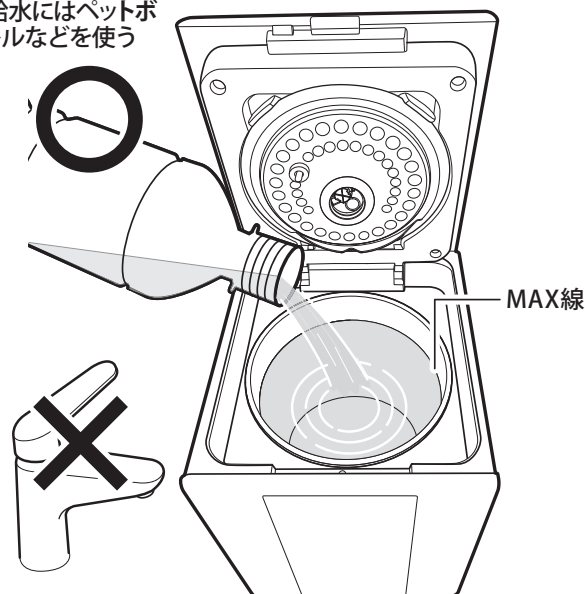
4. 水タンクに給水する

- ・ 水タンクに直接、きれいな常温の水道水を入れてください。
- ・ 水タンク内部のMAX線を超えないように水道水を入れてください。
- ・ 水タンクをはずせば、直接給水することができます。

※水タンクをはずして給水した時は必ず底面を乾いた布でからぶきしてから本体に取り付けてください。

水タンク底面に水が付着したまま運転すると温められた水が蒸発して音が鳴ります。

給水にはペットボトルなどを使う



⚠ 注意

- ・ 水道水以外の水は使用しない。
- ・ 本体に蛇口から本体に取り付けた水タンクに直接給水しない。

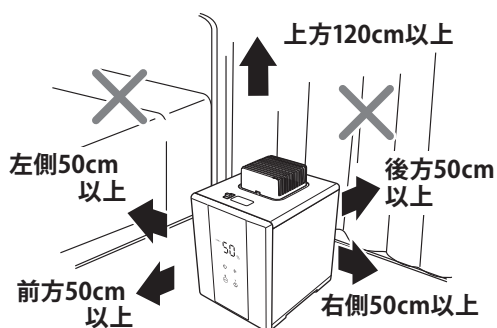
本製品は壁や周囲から適当な距離を保ってください。

本製品の設置は以下の点に注意してください。

- ・ 本製品の近くには携帯電話、パソコンなど湿気に弱い電子機器、精密機器は絶対に置かないでください。



テレビ、ラジオなどから2m以上離して設置する。
雑音の原因になります。



5. フタを閉じて開閉ロックをロックの位置にする

確実にフタを閉じてください。

フタ上部にある開閉ロックを手前にスライドさせて、ロック状態にしてください。



6. 電源コードのマグネットプラグを本体のプラグ差込口に差し込む



接続前に電源端子・マグネットプラグに異物が付着していないか確認する。

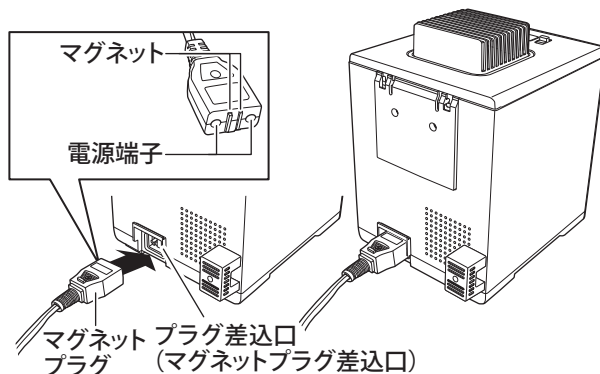
7. 電源プラグをコンセントに差し込む

操作部が全点灯し、そのあと  電源ボタンのみ点灯状態になります。



警告

- ・ 電源コードを束ねたまま使用しない。
電源コードの発熱・発火の原因になります。
- ・ 外出や本体から長時間離れるときは、電源プラグをコンセントから抜く。
事故・火災の原因になります。



正しい使いかた

運転の開始／停止

1. 電源ボタンを押して運転を開始する

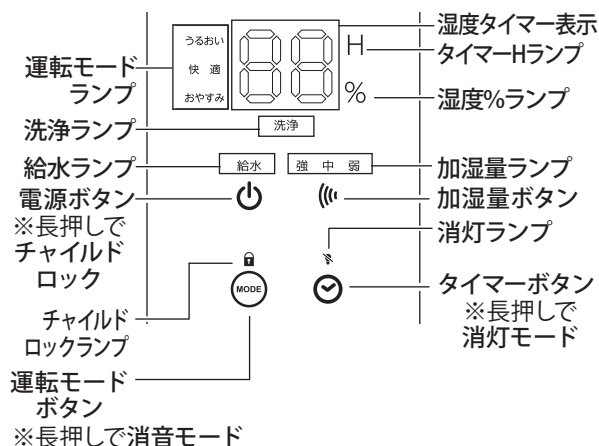
電源ボタンを押すと電源が入り、操作表示部のランプ(電源ボタン・加湿量ボタン・運転モード・タイマーボタン)が点灯、加湿量ランプ「強」が点灯し、「強」モードで加湿運転を開始します。

※20℃の水で運転を開始した場合、蒸気が発生するまで約40分かかります。

運転方法により以下をご覧ください。

- ・「**マニュアル運転モード**」加湿量を手動で調節して運転する場合 (手順2以降)
- ・「**自動運転モード**」設定された湿度に自動で調節して運転する場合 (8ページ)

操作表示部



湿度表示について

湿度が19%未満の場合は、「Lo」表示になります。

湿度が81%以上の場合は、「Hi」表示になります。

※本製品の湿度表示は、本製品搭載の湿度センサーの湿度を表示しており、お部屋などの別の湿度計と表示値が異なることがあります。

マニュアル運転モード

2. 加湿量ボタンを押して、加湿量を設定する

加湿量ボタンを押すたびに、「強」「中」「弱」の順に切り替わります。

お好みの加湿量に調節してください。

- ・運転モード設定後は、タイマーボタンを押してOFFタイマーを設定することができます。

※運転開始後、蒸気が発生(沸騰)するまでは設定した加湿量にかかわらず「強」と同じ運転になります。

※「弱」運転が本製品では蒸気が発生(沸騰)する音が最も静かな運転モードになります。就寝時など音が気になる場合は、「弱」運転をご使用ください。

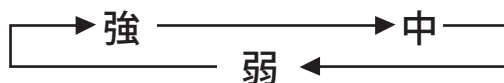
3. OFFタイマーを設定する

OFFタイマーを設定するには、タイマーボタンを押して、OFFタイマー時間を設定します。

- ・「0H」を点滅表示し、そのまま操作しないと通常の湿度表示に戻ります。
- ・1H～12Hの範囲で設定できます。
- ・設定すると残り時間(タイマーHランプ)と周囲の湿度(湿度%ランプ)を交互に表示します。
- ・OFFタイマー設定したあと、再びタイマーボタンを押して、設定時間を変更することができます。
- ・「0H」に設定すると、OFFタイマーをキャンセルすることができます。

マニュアル運転モードの設定

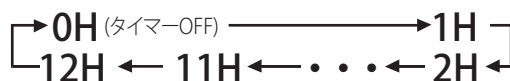
加湿量ボタンを押すたびに下のように切り替わります。



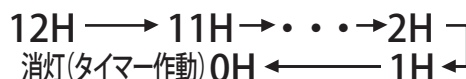
加湿量の設定	加湿量 (1時間あたり)
「強」	約500 ml/h
「中」	約300 ml/h
「弱」	約200 ml/h

OFFタイマー機能の設定：

タイマーボタンを押すごとに次のように切り替わります。



OFFタイマー設定後、表示部はタイマーがはたらくまでの時間と周囲の湿度を交互に表示します。時間の経過とともに、OFFタイマーがはたらくまでの時間の表示が変化します。



4. 運転を停止する

⏻ 電源ボタンを押すと、表示部と表示ランプが消灯し、加湿運転を停止します。

5. 電源プラグをコンセントから抜く

 警告	使用後は電源プラグをコンセントから抜く。 火災・故障の原因になります。
 注意	- 長時間で使用にならないときは、節電のためにも電源プラグをコンセントから抜く。待機電力が発生しなくなり、省エネになります。 - 運転中に、停電や電源プラグが抜けたときは、始めから操作をやり直す。運転が停止し、すべての設定が解除されます。

減光モード

本体を最後に操作してから約1分経過すると、自動的に点灯しているランプや表示部が減光します。

再度、本体のボタンを押して操作が入力されるとともに減光モードが解除され、ランプや表示部の明るさは通常に戻ります。

消灯モード

運転中に本体の Ⓞ タイマーボタンを長押しすると、消灯モードが設定され、表示部の一部を消灯させることができます。

⏻ 電源ボタンを押して運転を停止させるか、Ⓞ タイマーボタンを長押しすることで消灯モードを解除できます。

自動運転モード

設定した湿度に自動で調節して運転します。

1. Ⓞ 運転モードボタンを押して、「快適」「おやすみ」「うるおい」を設定する

- 運転モード設定後は、Ⓞ タイマーボタンを押してOFFタイマーを設定することができます。
- 各モードの湿度の設定や運転量設定などは設定することができません。

《快適》:

湿度を約50～60%に保つ運転

《おやすみ》:

湿度を約50～60%に保つ運転

- 《快適》モードに比べ、「弱」「中」で運転するため湿度の上昇には時間がかかります。

《うるおい》:

湿度を約55～70%以上に保つ運転

- 《快適》モードに比べ、「急速」で約70%まで運転するため、すぐに高湿度が得られます。

 注意	- 現在の湿度が自動運転モードの設定湿度に達すると加湿運転を停止します。 - マニュアル運転モードから自動運転モードに切り替えた場合、現在の湿度が自動運転の設定湿度に達していると加湿運転を停止します。
--	--

自動運転モードの設定

Ⓞ 運転モードボタンを押すたびに下のように切り替わります。



自動運転モード	湿度	加湿量の設定
「快適」	約50～60%	「強」
「おやすみ」	約50～60%	「弱」～「強」
「うるおい」	約55～70%	「強」

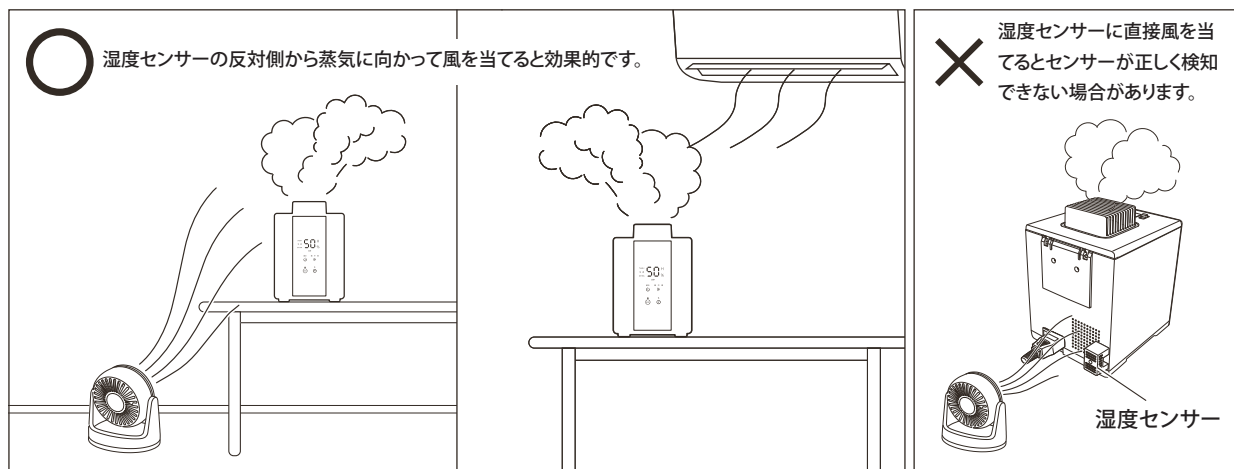
運転中に給水ランプが点灯したとき

給水ランプが点灯したときは、水タンクの水がなくなっていることを示しています。

- 水タンク内の水がなくなるとブザーが5回鳴り、給水ランプが点灯して加湿運転を停止します。
- 水タンクが冷めるまで待ちます。
- 水タンクが冷めたあと、新しい水道水を入れてください。
- ⏻ 電源ボタンを押して、一度電源を切り、給水ランプを消灯させます。
- 正しい使い方(P7～9)にしたがって運転を開始してください。

正しい使いかた (つづき)

効率的に室内の湿度を上げるには、サーキュレーターなどを使って蒸気を拡散すると効果的です



チャイルドロックの設定／解除

小さいお子さんなどが、本製品を操作できないように設定することができます。

1. 運転停止中または運転中、 電源ボタンを3秒以上長押しする

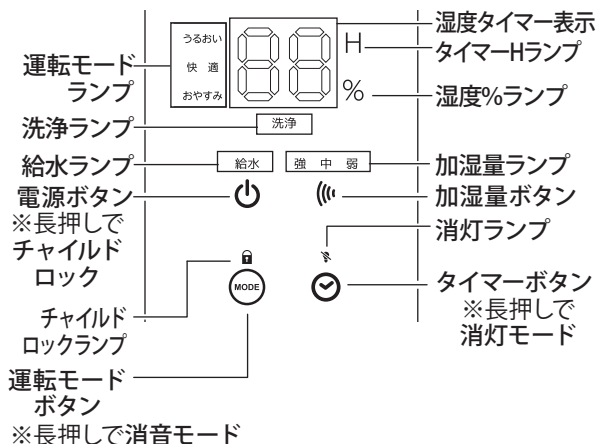
チャイルドロックランプが点灯し、チャイルドロックが設定されたことが確認できます。

2. 再度、 電源ボタンを3秒以上長押しする

表示部のチャイルドロックランプが消えて、チャイルドロックが解除されたことが確認できます。

- コンセントから電源プラグを抜くことでも、チャイルドロックを解除することができます。

操作表示部



消音モード

 運転モードボタンを長押しすると、操作音を消すことができます。

解除するときは、再度運転中に  運転モードボタンを長押しするか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

転倒オフスイッチが作動したとき

本機が約45度以上傾いた場合、転倒オフスイッチが作動し、自動的にヒーターへの通電が停止してブザーが鳴ります。

再度運転を開始するときは

本機を水平な場所に設置しなおし、マグネットプラグをプラグ差込口から取りはずしたあと、再度取り付け、運転を開始してください。

お手入れと保存



警告

- ・必ず運転を止め、電源プラグをコンセントから抜いて、本体内部が冷えるのを待ってからお手入れを行なう。感電・やけど・けがの原因になります。
- ・清掃後は、必ず各部品を元通りに取り付け。やけど・けが・故障の原因になります。

本体のお手入れ（週に2回以上）

※水を捨てるときは、水タンクが十分冷えてから本体から取り出して捨ててください。

通常のお手入れ

本体・電源コードは水洗いしないでください。

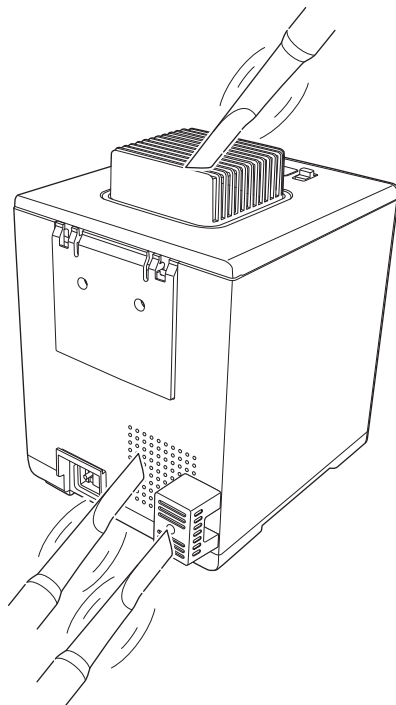
本体・電源コード以外は丸洗いできます。

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤（柑橘系を除く）に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください（強くこすらないでください。傷つきの原因になります）。

※フタを本体から取りはずすことはできません。

※お手入れをするとき、オレンジ・ライムなど柑橘系成分の入った食器用中性洗剤を使用しないでください。プラスチックを変色・変質させる原因になります。

- ・水タンクを取りはずし、水滴をふきとり、本体内や外側をよく乾燥させてください。
- ・本体内部についてはブラシや綿棒などを使用してきれいにしてください。
- ・給水時にフタを開けて水滴が枠にたれたら乾いた布でやさしくからぶきをしてください。



注意

本体は水洗いしない。

フタは複雑な構造になっており、水洗いや水没させると内部の水が抜けなくなり、不衛生になります。

お手入れと保存 (つづき)

上フタ・吹出口ガードまわりのパッキンのお手入れ

上フタ・吹出口ガードまわりに取り付けられている、パッキンは取りはずすことができません。

布やスポンジなどではさむようにして(パッキンを傷つけないように)拭き取ってください。

蒸気がもれたりするときは、上フタを交換するか、お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室(➡裏表紙)へお問い合わせください。

水タンクのお手入れ

〔洗浄モードの設定〕 (週に1回以上)

加湿運転を続けて行なうと、水タンクへ水道水に含まれるミネラルなどが白や茶色の水あかとして付着します。水あかの付着に対して、以下の手順でお手入れしてください。

1. 水タンクに水あかが浸るぐらい水を入れ、市販のクエン酸を水の量に合わせた量を入れます。

水 水タンク満タンで約2.4L

クエン酸 約20グラム

(汚れがひどいときは多少多く入れる)

2. 電源ボタンを押したあとに、加湿量ボタンを長押しすると、洗浄ランプが点灯し、洗浄モードが開始します。
3. 約60分で洗浄ランプが点滅し、ブザーが5回鳴ったあと、洗浄ランプが消灯して洗浄モードが終了します。

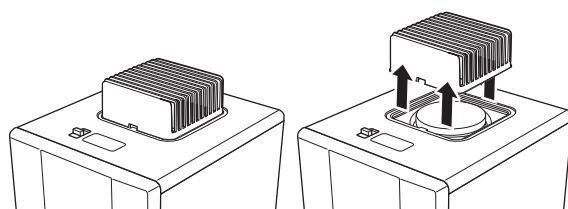
※ 洗浄モードを途中でキャンセルをする場合は、電源ボタン、加湿量ボタン、または運転モードボタンを押してください。

4. 本体が十分に冷めてから、水を捨ててください。
5. 水タンク内をやわらかい布やスポンジなどで水あかを落としてください。
6. 水タンク内の汚れやクエン酸が残っているので、水を入れて軽くすすぐようにしてください。

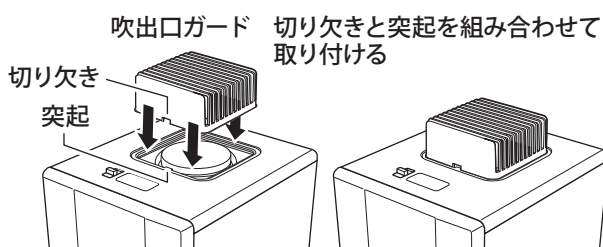
※ 汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄をしたあと、12時間以上そのまま水を捨てずに放置後、やわらかい布やスポンジなどで水あかを流してください。

吹出口ガードの取りはずし・取り付け

吹出口ガードを全体的に持ち上げて取りはずします。



取り付けるときは、本体フタ側の取り付け部分の前面側に突起があり、吹出口ガードには切り欠きがあるので、それを組み合わせるようにしてください。

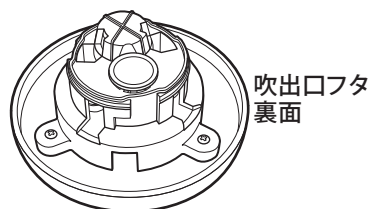


吹出口フタの取りはずし・取り付け

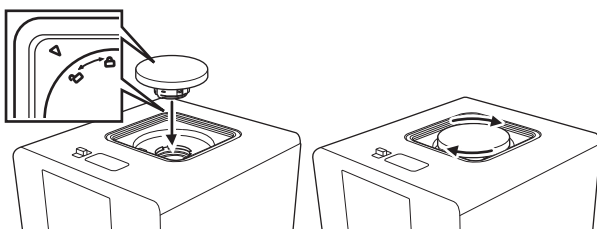
吹出口フタを取りはずしてお手入れをすることができます。



吹出口フタを左(反時計回り)に回し、止まったところで持ち上げると、吹出口フタを取りはずすことができます。



取りはずした吹出口フタは水洗いすることができます。吹出口フタを取り付けるときは、角にある▼マークと吹出口フタにある▲マークを合わせるように取り付け、右(時計回り)に止まるところまで回してください。



- ・ 洗浄モードは、クエン酸のにおいがするので、換気のよいところ、換気扇の近くなどで行なう。
- ・ クエン酸洗浄後は必ず水ですすぎ、水を捨て、クエン酸を残らないようにする。

水タンクをお手入れせずに使用を続けると水あかがたまり、給水ランプ点灯時に、においが出ます。

保存のしかた

「本体のお手入れ」「水タンクのお手入れ」に従ってお手入れ・清掃したあと、本体内部の水分をよくふき取り、陰干しして十分に乾燥させてください。ポリ袋などに入れ、取扱説明書とともに買い上げ時の箱に入れ、湿気の少ないところに保存してください。

上フタの交換

※ 上フタのパッキンは消耗品ですので、保証期間中でも「有償」とさせていただきます。

【交換用上フタ】

上フタのパッキンは、使っているうちに消耗します。フタを正しく取り付けても蒸気がもれるときは、フタパッキンの寿命ですので、新しい上フタと交換してください。

商品名:	上フタ (WH)
型名:	WTLID-KSA351(WH)
商品名:	上フタ (BK)
型名:	WTLID-KSA351(BK)

ドウシシャのパーツ購入はドウシシャマルシェのご利用が便利です。

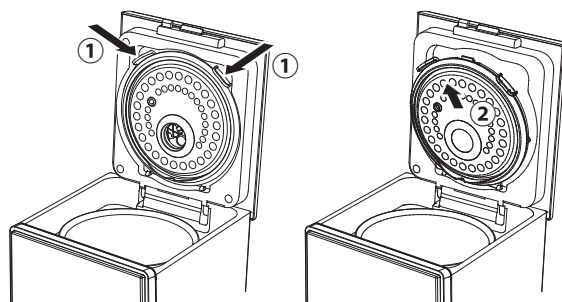
ドウシシャのパーツ購入は **ドウシシャマルシェ**
DOSHISHA Marché
ONLINE STORE 公式オンラインストアで
<https://www.doshisha-marche.jp/>



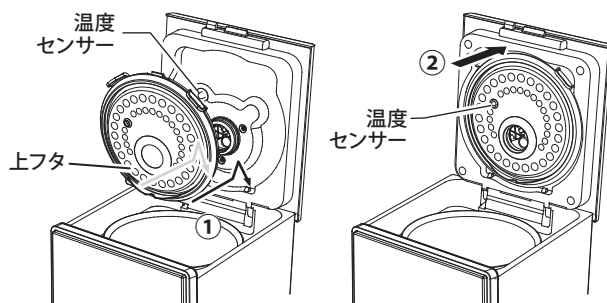
ドウシシャマルシェがご利用できない場合は、お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室（⇒裏表紙）へお問い合わせください。

上フタの取りはずし・取り付け

上フタは上の2か所を押すことでロックがはずれ①、取りはずすことができます②。



上フタの取り付けは、上フタの直線部分をフタの下に合わせ①、上フタの上部を倒してカチッと音がするまで押し付けて取り付けてください②。温度センサーが上フタを通して出てきていることを確認してください。



⚠ 注意

- **ベンジン・シンナーでは拭かない。**
変色・変形の原因になります。
- **オレンジ・ライムなど柑橘系成分の入った食器用洗剤を使用しない。**
変色・変形の原因になります。
- **化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従って使用する。**
変色・キズの原因になります。
- **水タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替える。本体内部は常に清潔を保つよう定期的にお手入れする。**
お手入れせずにお使いになると、汚れや水アカにより、カビや雑菌が繁殖し、異臭の原因になります。まれに体質によっては、過敏に反応し健康を害することがあります。その場合は、医師に相談してください。
- **水道水以外は使わない。**
一般的に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいからです。ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水は水アカが多くなったり、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。必ず、きれいな水道水をご使用ください。
- **ジュースなどの飲料水、化学薬品、芳香剤（アロマオイルなど）、洗剤を入れた水などは絶対に使用しない。**
水タンクや本体が故障する原因になります。
- **本体・フタは水洗いしない。**

修理・サービスを依頼する前に



警告

修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをしっかりと差し込む
	マグネットプラグがプラグ差込口に正しく差し込まれていない／異物が付着している	マグネットプラグをプラグ差込口に正しく差し込む／異物を取り除く
	チャイルドロックがかかっている	チャイルドロックを解除する
加湿しない、または加湿量が少ない	給水ランプが点灯している	水タンクに水がない場合は給水する
	自動運転モードで設定した湿度に達している	湿度が下がると運転を開始します。または通常モードで使用してください
	スチームが発生するまで温まっていない	しばらくお待ちください (20℃の水から運転を開始した場合、蒸気発生まで約40分かかります)
	本製品から発生した蒸気は、温度や湿度によって見えないことがあります	問題ありません
においがでる	水道水以外を使用している	水タンクに残っている水を捨て、「お手入れと保存」に従って掃除する
	水タンクに水あかの汚れがある	クエン酸を使用してお手入れをする
操作しても受け付けない (チャイルドロックランプが点灯している)	チャイルドロックが設定されている	Ⓢ運転モードボタンを3秒以上長押しする、またはコンセントから電源プラグを抜き差しして、チャイルドロックを解除する
操作部ランプ・表示部が暗い	最後に操作してから約1分が経過し、減光モードになっている	Ⓡ電源ボタン以外の操作ボタンが押されると、減光モードが解除され、元の明るさに戻る
操作部ランプ・表示部が点灯していない	消灯モードになっている	Ⓡ電源ボタンを押して運転を停止させるか、Ⓢタイマーボタンを長押しする
水(お湯)の中で膜状のものが浮遊している	水の成分(ミネラル分)によるものです	クエン酸を使用したお手入れをする
フタを閉じて、蒸気が出てくる	フタパッキンの寿命	上フタを交換してください。(P12参照)
給水ランプが消えない	電源ボタンを押して電源を切っていない	P8 運転中に給水ランプが点灯したときを参照ください

長年ご使用の場合はよく点検を

このような症状はありませんか?

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

MEMO

商品についてのご不明な点や故障・修理に関するご相談は

ご購入時のレシートまたは
保証書をお手元にご用意の
上お問い合わせください。

WEB
からの
お問い合わせ

ドウシシャお客様サポート



<https://www.doshisha.co.jp/support/>



ドウシシャのパーツ購入は **ドウシシャマルシェ**
DOSHISHA Marché
ONLINE STORE 公式オンラインストアで
<https://www.doshisha-marche.jp/>

お電話からの
お問い合わせ

☎ 0120-104-481

【受付時間】9:00～17:00 (祝日以外の月～金曜日)

ドウシシャ 〒915-0801
福井カスタマーセンター 福井県越前市家久町41-1
※事前の連絡なしに商品を発送された場合には、修理を受け付ける
ことができません。

**修理品
発送先**